



令和元年6月26日
中部地方整備局
名古屋港湾空港技術調査事務所

「第20回 民間技術交流会」を開催します — 環境調査・施工・維持管理の最新技術を紹介 —

民間技術交流会は「民間技術を管内の港湾整備に有効活用するための情報収集」「民間等における技術開発の現状と動向の把握」および「官民の情報共有」を目的に開催しています。

第20回目となる今回は、港湾施設の施工や維持管理および環境調査に関する最新技術5件を技術開発者に紹介して頂くプログラムで開催します。

なお、開催方法につきましては、整備局及び港湾管理者の職員に加え、広く建設関係の技術者の聴講も募集し、およそ100名の様々な職種の方々に最新技術を紹介できるようにしています。

- 1. 日時** 令和元年7月1日（月） 13時15分より16時20分まで
- 2. 場所** TKP 名駅桜通口カンファレンスセンター 3階ホール3D
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目13-5 名古屋ダイヤビル3号館
- 3. 資料** 次第、発表技術の概要・会場周辺案内図
- 4. 取材対応** 会議中の傍聴、撮影および入退場は自由です。
記者席を設けております。
- 5. 配布先** 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース
- 6. 問い合わせ先** 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所 技術開発課
村上（むらかみ）・高須（たかす）
電話 052-612-9984 FAX 052-612-9452

以上



第 20 回 民間技術交流会

日時：令和元年 7 月 1 日（月）

13：15～16：20

場所：TKP 名駅桜通口カファレンスセンター

主催：国土交通省 中部地方整備局

名古屋港湾空港技術調査事務所

次 第

1. 開会

2. 主催者挨拶 名古屋港湾空港技術調査事務所長

3. 技術発表 (5 題)

- ① 環境 DNA 分析による水生生物調査技術【パシフィックコンサルタンツ株式会社】
- ② 超音波振動注入工法【液状化対策統括工法協会】
- ③ 水中 3D スキャナーによる水中可視化システム【いであ株式会社】

休憩

- ④ Dimple f (ディンプルエフ)【ゴトウコンクリート株式会社】
- ⑤ 流動化処理 (LSS) 工法【徳倉建設株式会社】

4. 閉会



【発表技術の概要】

	発表技術	発表者	技術概要
1	環境DNA分析による水生生物調査技術	パシフィックコンサルタンツ(株)	本技術は、採水試料に含まれる生物のDNA(環境DNA)を分析することで、調査対象種の生息を推定する技術であり、従来は主に捕獲法により調査されていた。本技術の活用により現地調査の省力化、環境攪乱の防止、調査精度のばらつき等の低減等が期待される。
2	超音波振動注入工法	液状化対策統括工法協会	固結系地盤改良工法の一つである薬液注入工法は、汎用性が高い利点がある一方、改良形状がいびつになるなど品質面で課題があった。本工法は従来型薬液注入工法に超音波振動を併用することで、薬液の地盤への浸透性が向上し、広範かつ良好な改良体を作ることができる。
3	水中3Dスキャナーによる水中可視化システム	いであ(株)	本技術は水中3Dスキャナー(音響機器)を用いた水中構造物、底面形状計測システムで、従来は潜水士による目視点検に対応していた。本技術を活用する事により、濁水中や水深40m以深でも形状確認可能となり、点群データ密度が高密度であるため、工期短縮、コスト削減、品質の向上が図れる。
4	Dimple f (ディンプルエフ)	ゴトウコンクリート(株)	従来、側溝の蓋やグレーチングが破損した際は、同じものを交換していた。しかし、同じように直しても根本的な解決にはならない。そういった現場にてDimple fを使う事で、既設の側溝を有効利用し、大型車の横断に耐えうるスリット側溝化が可能。
5	流動化処理(LSS)工法	徳倉建設(株)	自然災害に対する予防保全が叫ばれる中で、緊急輸送路、護岸裏込め部などの直下に発生している空洞地盤の周辺に与えている影響を最小限に抑え、かつ短期間で補修する技術

(発表順)

【会場周辺案内図】

